

# 賣藥商

池田北新町

藤田藥店

藤田昇一

## 第五編

池田商況

### 第一章

銀行會社

池田町商況 池田町は古來商業を以て發達し來たり將來更に商業を以て町是とし北攝の商府として覇を近郷に唱えん情勢にあれば、過去、現在、將來共に商業を以て終始一貫し商況の益益活潑ならんとするは云ふ迄もなし。酒造業旺盛なる往昔に於いて池田名物の『市』が著しき發達振りを示したるに引替え、現在池田商府の情況は多少衰微退歩の迹なきかの評あるも、開は唯酒造業の盛賑を灘五郎に奪はれ名物の『市』の開催日が漸減したるに止まり、商業一般の大局よりしては毫も衰微退歩の迹なきが如し。商業の種類は増加し商賈亦著しく、櫛比して昔日の面目をこそ傳えされ、尙ほ昔日商府の眞價は連綿として傳統し來たり依然北攝、山湊の名實を具備して餘蘊なきに似たり。蓋し時代の趨勢と交通運輸の發達はして現在の如く推移し發達し來たれるが自然の數なるべし。

池田町金融界 表面は池田町金融界と指稱し得べけんも事實は攝北全般に行涉り、池田町の

池田仲之町(電話二三九番)

御理髮處

眞砂床

阪上久吉

川西村吳服橋西詰南入

黒谷材木店

店主 黒谷岩吉

池田南新町

和洋建具  
指物商

福本建具店

店主 福本定次郎

改良唐箕

改良萬石籠

篩類各種

製造

後藤農具製造所

(池田町本町役場前)

◎御註文ノ節ハ第一報次第遠近ニ拘ハラズ早速參上可仕候



金融事業は直ちに以て攝北一般の斯界に關聯なきを得ざるが如し。而して金融事業の顯著なる發達を遂げ内容の充實を來たし増資の如きを斷行するに至れるは歐州戰亂勃發以後の事に係り當時土地建物の賣買移動頻繁にして且つ一面幾多の事業勃興せるあり、物資の需給寛散また隆盛なりしが爲め、惹ひて之等の影響はして金融の運轉活潑なるを促進するに至り茲に金融界曾て見ざるの活況と進境を呈するに至れり。但だ現在に於いては各地の状況と同じく戰後整理の期に入りて金融また多少緩慢沈滞の色あり各當業者は閑散の趨勢を持續して自ら金利の低落を促され遂に積金利息の引下げを爲すに至れるもあり。而して米價の低落は地方の人氣を沮喪し而して市況は一層不振の狀態に陥り益々金融緩慢の弊を助長するに至れるが如きが、兎に角歐亂中に戰後整理に伴へる現象として特筆大書すべきは北攝五銀行合併問題なり。問題の五銀行とは攝池銀行、池田實業銀行、能勢銀行、北攝銀行、廣根銀行等にして、此は本春結城日本銀行大阪支店長及び阿部商業興信所理事の策するものなるも中途幹旋不調に終りて瓦解し、其の後晚秋の候に於いて小幡大阪府内務部長等が同じく地方銀行合同を策し同部長の內意を受けて喜田豐能郡長が幹旋の勢を執りつゝあるが、今尙ほ合併の決定を見るには至らざるも既に合併の氣運動き將來之れが時代の趨勢上免る能はざる措舉とすれば、早晚何れかの形式を以て合併實現を見るは動かすべからざる事實なるが如し。

## 陶器類製造販賣

池田 元新町

池田燒元祖

阪戸梅吉

工場 豊能郡細河村古江

明治二十年創業

池田荒木町

# 小林牧場

店主 小林治郎兵衛

場乳搾の第一 攝北はるな 全完の備設

特色

弊店は

實地と學理を應用する衛生的牛乳  
を搾取配達す希望に依り特選乳  
小兒乳、脱脂肪乳、長壽乳（ヨーグ  
ルド）と區分に最も迅速に配達す  
乳牛實に五拾頭生産額五百石

金融一面觀 (池田郵便局大正九年度調)

爲替 振出 拂渡

内口數 一〇、三二六 一〇、五九五

國金 二六、〇五五、七四〇 一八、一五五、〇〇〇

貯金 (新規預入人員千八百一十一名) 六、八八一 拂口數 五、一一一 拂 七七一

預口數 一四、六八五 拂 三六、〇五五 込金額 三五、五五五、三三〇 出 一三、三三〇、二五五

入金額 二五、二四二、七五五 三六、〇五五 込金額 三五、五五五、三三〇 出 一三、三三〇、二五五

簡易保險 六二 累計契約者 八七

申込口數 六、四〇〇 此金額 二、九〇〇、四〇〇

此金額 六、四〇〇 此金額 二、九〇〇、四〇〇

保險金還付金拂殺口數 三 此金額 四、八〇〇

現在銀行會社一覽表

名 稱 創立年月 目的事業 資本金 代表者

池田土地株式會社 大正六年三月 土地建物賣買 八七、〇〇〇 北村儀三郎

第五編池田商況第一章銀行會社

一二六

振出 拂渡

外口數 九 三三四

國金 四三、三三〇 一五、三三〇

振替貯金 (新規加入人員四名) 五、一一一 拂 七七一

保險金徵收口數 二、二〇〇 二二四

此金額 五、二〇〇

此金額 四、八〇〇

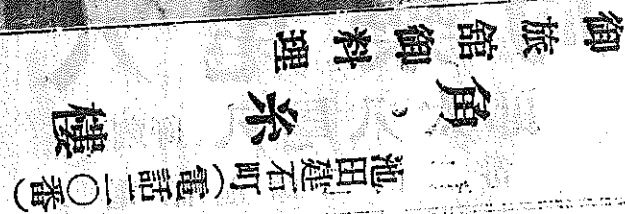


杉本會社四宮銀行池田支店

銀行業 銀行業

1000-000  
1000-000

青木 茂  
駒井 龜治郎



ドンナくすりデモアル



池田本町  
八尾薬局  
藥劑師 八尾太郎  
電話 池田二四二番

阪神急行電鐵株式會社

明治四四年四月

運輸電力供給土地  
家屋經營

二〇〇,〇〇〇

平賀

敏

尙ほ詳細なる銀行會社の内容を次ぎに掲ぐべし。

攝池銀行 本町に在り。當町に於ける最古參株の銀行にして池田町字北新町、三島郡吹田町  
豊能郡豊中村大字岡町、川邊郡立花村塚口、三島郡山田村大字山田中の五箇所に各支店を有す  
現在重役は左の諸氏。

取締役頭取北村吉右衛門、取締役清瀧徳兵衛、同北村儀二郎、同西田常太郎、同岸上又吉、  
同山岡勝三郎、同亘市郎右衛門、同永田儀三郎、同川端信次郎、支配人淺井善之助、監査役北  
村房吉、同植村重左衛門、同廣末恒太郎、同吉田榮三郎

池田實業銀行 南新町にあり。攝池銀行に次ぐ有力なる當地の銀行にして川邊郡伊丹町伊丹  
豊能郡箕面村字半丁、武庫部良元村實塚の三箇所に支店を有す。現在重役は左の諸氏。

取締役頭取清瀧徳兵衛、取締役福井熊三郎、同下岡龜一、同今里俊雄、同西田庫之助、同勝  
弘幾太郎、同上山仙松、同北村伊三郎、監査役澤田太兵衛、同澤田與市、同川上幾近、  
尙ほ攝池銀行、池田實業銀行の大正十年上半年營業成績概況を對比すれば左の如し。

攝池銀行

實業銀行

攝池銀行

實業銀行

資本金

五〇〇,〇〇〇,〇〇

五〇〇,〇〇〇,〇〇〇

準備金

一八八,八六一,五〇

二八,〇〇〇,〇〇〇

第五編池田商況第一章銀行會社

二二八



拂込金	£07,000,000	準備金	四,161,441	四,161,441
諸貸金	ニ,五五五,七〇〇	預ヶ金	一,三五九,九五一	七九七,九〇〇
營業用土地	一,〇〇〇,〇〇〇	所有不動産	一五,一九〇,〇〇〇	三,九六六,四〇〇
建物什器	一〇,〇〇〇,〇〇〇	純益金	九,四八〇,四三三	五,四七二,五九
現金勘定	一〇,〇〇〇,〇〇〇			

**加島銀行池田支店** 本町にあり。元來加島銀行は今より凡そ三百年前大阪廣岡家が加島屋と稱して金融事業に従事し居たるが其の濫觴にして、徳川幕府時代には幕府並に諸侯の會計御用を務むると共に古金銀古札の引換並に錢相場總元取締等種々の金融事業に貢獻し來たりたるが、明治維新後は専ら兩替商を營み明治二十年加島一族の出資を以て純然たる銀行業に改め爾來時勢の進運に順應して數次の増資と組織變更とを决行し今や一千五百十萬圓(拂込濟)の資本金と一億四千五百餘萬圓の預金及び三百萬圓の諸積立金(共に大正十年九月末現在)とを有する全國屈指の大銀行として推さるゝに至れり。曩に我國十餘の大銀行がシンデゲート銀行を組織して國家の經濟政策實行に參與する事になりし際當行また其の一員として力を國家の爲めに捧げ居れり。現在池田支店は、大正六年十一月の開設に係り、豐能郡豐中村大字岡町に出張所を有し、支配人は青木茂氏なり。同行の重役左の諸氏

取締役頭取廣岡惠三、專務取締役星野行則、同吉井仲助、同加輪上勢七、取締役祇園清次郎、同大村彦太郎、同江村忠之助、監査役廣岡久右衛門、同松井萬綠、同星島謙一郎。

### 西宮銀行池田支店

武庫郡西宮町に本社を有する西宮銀行は明治二十四年三月の創立にして頭取は八馬兼介氏なり。地方銀行中嶄然たる頭角を現はし内容の豊富と基礎の確實なる事は其の秀抜なる成績に瞥見しても一目瞭然たるものあるべし。今試みに大正十年六月末現在の成績の概況を窺はんにより左の如し。

諸預金二千四百十三萬三千七百圓、資本金一百萬圓、積立金四十五萬三八百圓、株主勘定三十五萬二千圓、利益金十萬九千九百圓、諸貸金五百九十八萬八千八百圓、未拂込資本金三十七萬百圓、所有物件百八萬千五百圓、預ヶ金及金銀五百九十九萬九千四百圓

同行池田支店は南新町にあり、明治二十七年三月の開設にして當地に純然たる銀行業の開業されしは實に同支店を以て嚆矢となす、支店所屬の派出所に川邊郡小濱村寶塚、同郡川西村、同郡長尾村、豐能郡萱野村、三島郡豐川村、武庫郡中東村の六箇所を有し、支店長駒井龜治郎氏は本店總務部長を兼ね地方銀行界の敏腕家として令名あり。近く同行は更に五百萬圓の増成計畫ありて地方金融界の爲めに一大飛躍を試みんとしつゝあり。

**北攝信託會社** 資本金十萬圓なるも比較的健實なる營業狀態にあり。大正十年度上半期の成績は信託金の取扱ひに於いて四割の増進を見、隨つて其の保證及び取扱手数料は三割四分の増收となり其の他各種の手数料亦五割の増加あり。信託金は前期末七十五萬九千餘圓なりしもの當期末には百六萬一千圓に達し放資口選擇の結果利益は依然として減退を見ざりき。營業所は

銀行と名乗るさへお耻かしい様な山が育ちの小  
さな私共の銀行が村近くの池田の倉庫會社と合  
併して支店を出す事になりました素より大きな  
銀行の眞似は出来さうありませんがもし柄に  
叶つた様な御用が御座いましたらどうかなるべ  
く私共の店へ御申付けの程を御頼み致します倉  
庫業は営みませぬが倉庫はもとのまゝに置きま  
すからどうか御利用下さいませ

阪急寶塚線能勢口停留所南へ入ル  
元池田倉庫會社跡

# 株式會社 北攝銀行 支店

電話池田四十五番

本店 兵庫縣川邊郡東谷村  
支店 大阪府豊能郡枳根莊村





蒲 鉾 製 造

池 田 米 屋 町

サ ノ ツ ル

店 主 佐 野 鶴 之 助

何かうまいもの

滋養になるもの

新らしい珍味

粹な御進物

との御用命をキツト御満足をして戴きます

弊店は食料品に關する一切の品を取り揃へ且つ阪地東京北海道等各地の珍食料品問屋に連絡を取つて居りますから御註文次第若し店にない品でも直に御間に合せる様致します

池田林口町

印藤食料品店

洋館菓子  
各國名産珍物

槻木町に在り、來年一月より北攝土地株式會社と合併し資本金百萬圓の増資計畫あり。現在重役は左の諸氏。

取締役社長 福井熊三郎、取締役 西田常太郎、同上山仙松、同澤田太兵衛、同廣末恒太郎、監查役 池田勝治、同前野彦三郎、同平井清。

吳服檢商會社 仲之町に在り、檢番部と信託部を置く。抑々同社の今日あるは明治三十一年本町富士市樓藤本由松氏が個人經營として名稱本檢の檢番を設置し、藝妓二十數名を抱えて各旅館料理業者の招聘に應じ居たるに始まる。其の後本檢に對峙し寶檢、旭檢、中檢等の檢番股置されしも何れも業務振はずして中途解散し獨り本檢のみ成績隆盛を呈し來たりしが、明治四十年八月時の有志細原茂雄、藤井福松、小林治一、藤本由松氏等相圖り本檢を擴張して合資組織となし名稱を吳服檢合資會社とし、併せて各料理屋組合を組織して吳理會と命名し同會長に濱乃屋主人森脇左門氏を擧げて斯業者の發展に貢獻し來たり。大正九年三月更に之れを資本金五十萬圓の株式組織に改め從來の檢番部を存置し附帶事業として信託部を置き次いで第二期よりは證券株式會社池田代理店を併置し其の他生命、火災、徴兵の各保險事務を取扱ひ來たりて以て今日に及ぶ。成績の優秀にして逐年隆昌の域に進み益々社礎の健實を加へつゝある事は既往の事實に徴して既に明かなるべく、本年十月第二回拂込みをなし二十萬圓の拂込資金を得て將來愈々活躍雄飛すべく企圖し居れり。現在重役は左の諸氏。

取締役社長 巽善太郎、取締役 細原茂雄、同藤井福松、同清水品吉、同藤本由松、監查役 原田長治、同小林治一、相談役 大島實太郎。

池田土地會社 土地住宅の經營地は阪急電鐵停留所南方の滿壽美の地に在り。大正七年十二月同社の計畫せる總面積三萬坪餘を北田營業部が引受けて實際經營の衝に當り、總建築豫定數百戸の内既に二十二戸の落成を告ぐ。其の經營振りたるや他人の追隨を許さざる模範的を以て稱せられ東西南北縦横數條の大道小路を設けて宅地と截然たる區劃を分ち其の街區の整然たると時代の要求に適したる輪奐壯麗の建築とは更に風光の明媚、土地の高燥飲料水の好適せる等の天然の恩恵と相俟ち浪北新住宅郷中の白眉を以て精彩斐々たり。現在同地に住居せる居住者は左の如く大阪方面の紳士を以て網羅す。

鐵商三宅敏介、日本製壘會社員山川迪吉、樋口達五郎、日本製藥會社事務瀧野勇、大阪毎日新聞社員布施勝治、日本製壘會社員谷中秀次郎、羅紗商吉田太四郎、綿布商島傳次郎、金物商吉田鐵一、羅紗商與田貞藏、阪急電鐵地所課諸原良次郎、大阪市役所高松、藥種商大野清吉、藥種商福島喜太郎、旅館業岸吉兵衛、綿糸商安川、實業家市岡萬次郎、十合吳服店加納節、北田榮太郎、淺井千之助氏等

阪神急行電鐵株式會社 關西電鐵界の一權威として社礎健實、社運益々隆昌に赴き將來尙ほ大に活躍せんとするの諸種の計畫ある事は既に周知の事實なるを以て茲に贅説を省くべし。專